



特集 令和6年度 全国学力・学習状況調査

4月18日に文部科学省により全国の小学第6学年（義務教育学校第6学年）と中学第3学年（義務教育学校第9学年）を対象に「令和6年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度は、国語、算数・数学についての「教科に関する調査」と「質問紙調査」が行われました。

この調査における貝塚市の傾向や結果分析について、概要をお知らせします。詳しくは、市のホームページで公開しています。また、学校教育課及び貝塚市教育研究センターにてリーフレットの配布もしています。

貝塚市教育委員会は、この分析結果を学校や保護者、地域の方々と共有し、今後の本市の教育施策や学校の取組みに生かすことにより、本市の教育を一層充実させてまいります。

なお本調査により測定できる学力は特定の一部であり、学校における教育活動のひとつの側面を表すものです。

【教科に関する調査の結果と成果】

○平均正答率(%)

小学校

| | 貝塚市 | 大阪府 | 全国 |
|----|-----|-----|------|
| 国語 | 63 | 66 | 67.7 |
| 算数 | 60 | 63 | 63.4 |

中学校

| | 貝塚市 | 大阪府 | 全国 |
|----|-----|-----|------|
| 国語 | 52 | 57 | 58.1 |
| 数学 | 44 | 51 | 52.5 |



※貝塚市の平均正答率は、小学校、中学校ともに大阪府と全国の平均正答率を下回る結果となりました。

○成果 「授業で学んだことを次の学習や実生活に生かすことができるか。」肯定的な回答が高い数値

「授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりすることができると思いますか」という問いについて、「当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校では45%、中学校では30%と大阪府や国の割合を上回りました。

「授業で学んだことを次の学習や実生活に生かす」ことは、昨年度、本市が掲げていた授業改善の指標です。学校において指標を意識した授業を実施してきたことの成果の表れだと考えます。

【児童・生徒質問紙調査の結果から】

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか？」

この問いについて、本市における肯定的な回答の割合が、小学校、中学校ともに80%を超えており、年々上昇しています。学校において、話し合いの重要性を意識し、積極的に授業に取り入れた成果が見られました。

【今後に向けて】

今回の結果分析から、日々の授業における話し合い活動や、学びを生活に結び付ける取組みが児童生徒に浸透していることがわかりました。多くの子どもたちが主体的に学びを進めている結果であると考えます。

一方で、教科に関する調査においては、「問題の意図を正しく理解する力」や「文章の要旨を読み取る力」に弱さが見られました。これらの力は、思考力・判断力・表現力の土台となるものであり、将来にわたり必要となる基礎的な力です。まずは、「読む力」を強化するため、子どもたちが文章の要旨や意図を正しく読み取り、自分の考えを深められるような授業改善について、研究を進めてまいります。

グローバル化や技術革新が進む今、子どもたちが未来を切り開くためには「実社会で活かせる知識・技能」を身につけ、「未知の課題に対応する力」を育むことがますます重要です。自己肯定感や自己有用感を高めながら、子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育を、学校、家庭、地域が一体となって実践し、子どもたち一人ひとりが輝ける未来を共に創り上げていきます。



異年齢の交流が子どもたちの社会性を育てる ～開校から半年、義務教育学校二色学園の今～



今年度4月に二色小学校と第五中学校がいっしょになり、二色学園が開校しました。貝塚市ではもちろん、泉南地区でもはじめての義務教育学校です。

二色学園の特色の一つは、1年生から9年生までが同じ校舎で生活をする中で、児童会と生徒会が合同で行う1年から9年までのたてわり活動や体育大会など、異年齢交流が活発に行われることです。このことにより子どもたちの社会性が育っていきます。

また、前期課程（1～6年）の教職員が後期課程（7～9年）の生徒を、後期課程の教職員が前期課程の児童を指導することも大きな特色です。後期課程の教職員による専門性を活かした前期課程の児童への指導や、小学校時代から慣れ親しんだ前期課程の教職員による後期課程の生徒への支援など、それぞれの役割を意識しながら、児童生徒の学びを育んでいます。



二色学園体育大会

二色学園は、9年間の教育課程を見通した教育実践のために、貝塚市教育研究センターと連携して研究を行っています。具体的には、「生成AIの授業への活用モデル校」としての最先端ICT教育の研究、新たなキャリア教育である「二色学園型STEAMS教育」などが挙げられます。

「二色学園型STEAMS教育」は、子どもたち自らが世の中の課題に気づき解決することを通じて、社会での自分の役割や進路を考える取組みです。昨年度、第五中学校として、その発表の場である大阪府教育庁主催の「わくわく・どきどきSDGs ジュニアフォーラム」に参加し、府下で1位となる金賞を受賞しました。

英語教育については、大阪府から「英語教育推進事業」を委託されて研究を進めています。先日この事業について、文部科学省の視察がありました。調査官は子どもたちの英語スキルを高く評価し、日本の最先端の教育実践であると講評しました。

今後、全国に二色学園の授業がビデオ発信される予定です。



異年齢交流 縦割り活動



貝塚市立幼稚園のInstagramへGO！

一方で、課題は児童生徒数が年々減っていることです。

二色学園は、開校と同時にコミュニティ・スクールとなりました。学校と地域住民や保護者などで組織される学校運営協議会では、「二色学園が素敵な学校だから、この校区に住みたいという人を増やして、校区を活性化させていこう。」と活動されています。

子どもたちもこのような地域の活動に積極的に参画し、ともに二色校区を盛り上げていってくださることを願っています。

教育に関する悩みの電話相談

【教育研究センター教育相談室】



コスモスダイヤル

フリーダイヤル

0120-222-674 ☎ 072-433-7110

月・水・木（祝日を除く） 9:15～16:45

学校生活で悩んでいることはありませんか？
困っていることはありませんか？
いじめや不登校などについて、誰でも相談できます。
コスモスダイヤルに電話してね！



虐待やヤングケアラーなど
子どもに関する相談全般
貝塚市役所子ども部子ども相談課

平日 8:45～17:15

072-433-7022

虐待や子どもの福祉
ヤングケアラーなどに関する相談
児童相談所相談専用ダイヤル

年中無休 24時間対応

0120-189-783

いじめやその他子どものSOSに
ついて、子どもや保護者の相談
24時間子供SOS相談ダイヤル

年中無休 24時間対応

0120-0-78310